

ハロスルフロンメチル・メタゾスルフロン水和剤 アレイル SC	取扱メーカー： 日産 原体メーカー： 日産，日産
成分： ハロスルフロンメチル〔スルホニルウレア系 PRTR・1種〕…1.8% メタゾスルフロン〔スルホニルウレア系〕……………2.4%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 根からも作用する茎葉処理除草剤。
- 耐雨性が高く，散布1時間後に降雨があっても除草効果を発揮する。
- 湛水のままでも散布可能。落水のタイミングまで待つ必要がない。
- 大きくなってしまった雑草もしっかり枯らす。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 使用前に容器をよく振る。
- 散布する前に水の出入りをとめ，まきムラのないように均一に散布する。
- 散布後少なくとも2日間（湛水処理は3日間）はそのままの状態を保ち，入水はしない。散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水，かけ流しはしない。
- 生育期に入った雑草に効果があるが，特に多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので必ず適期に散布する

雑草名	散布適期
ホタルイ	花茎20cm まで
ウリカワ ヘラオモダカ	6葉期まで
ミズガヤツリ	草丈25cmまで
セリ	増殖期まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
コウキヤガラ	草丈90cmまで
オモダカ	矢尻葉3葉期まで
クログワイ	草丈70cmまで
シズイ	草丈60cmまで
クサネム（1年生雑草）	草丈50cmまで

【薬効・薬害等の注意】

- 共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（移植水稻）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 出穂始期の15日前までに散布する。
- 展着剤は加用しない。
- 有機リン系殺虫剤との混用及び7日以内の近接散布はさける。
- 重複散布はさける。
- 水稻以外の作物にかかると薬害が生じるおそれがあるので，周辺作物にかからないように十分注意する。特に，周辺にあぶらな科作物，なす，ほうれんそうがある場合には散布をさける。それ以外の作物であっても，飛散のおそれがある場合には散布を控える。

●使用後は、散布器、タンク、ホース、ノズル内に薬液が残らないよう十分に洗淨し、他の用途に使用する場合には薬害の原因にならないように注意する。但し、使用した器具をあぶらな科作物、なす、ほうれんそうの散布には使用しない。洗淨水は河川等に流さない。

【安全対策上の注意】
 ●藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10a 当り使用量		使用方法	本剤の使用回数
			薬量	希釈水量		
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後25日～ ノビエ5葉期 但し、 収穫45日前まで	500 ml	100 ℓ	湛水散布 又は 落水散布	1 回 ※

※ハロスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数 ：2回以内